第228号

発行所　上高井教育会
発行人　上高井教育会理事長　北村　雅
編集人　会報編集委員長　宮坂ゆかり
印刷所　須坂新聞社

明日に向かって

上高井教育会理事長　北村　雅

本年度、一般社団法人、上高井教育会理事長をつとめさせていただきます、東中学校の北村雅です。もとより、微力ではありますが、職務の重要性を深く認識し、責務の全うに努力する所存でございます。皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、上高井教育会は、本年度、発足百三十三年目を迎えます。多くの先輩の先生方が大切にされ、そして築きあげてきた「みんなで共につくる教育会」、そして不易流行の精神の基に、「子どもたちとともに自らの力を伸ばす」職能向上の思いと、「仲間と共に学ぶ」協働の思いを、本年度も確実に引き継いでまいりたいと思います。

一方、新学習指導要領の完全実施に向けた取組や、学校の働き方改革など、子どもたちや、私たちを取り巻く環境は変化しており、従来の方法だけでは、この変化の大きな時代に対応できない状況があります。時代や状況とともに変えていかなくてはならないことは、状況に応じて柔軟に変えていくことも大切にしていきたいと思います。

さて、本年度も信州大学の伏木久始先生を中心講師としてお迎えし、「子どもと共に創る授業」を目指し、公開授業を通して職能の向上を図っていきたいと考えます。昨年度、中心講師の伏木久始先生が、次のような話をしておられました。

どの郡市においても、生徒数減少の中、教員数も減少し、小規模校が多くなってきている。そのために、小学校、中学校を問わず、いわゆる教科会が成立しない学校が多くあり、教材研究が深まらなかったり、相談する先生がいなくて一人で悩んだりしている教師が多くなってきている。それを思うと、上高井教育会は、郡研等、先生方が集まり、情報交換し、授業について互いに研究し合う体制が整っていて素晴らしい。――伏木先生がおっしゃるように、上高井のよさを生かした研修にしていきましょう。

また、夏の講演会では、千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長の古田貴之先生をお招きし、「ロボット技術と未来社会」と題してご講演をいただきます。先生は、福島第一原発で唯一全フロア踏破可能な災害対応ロボットを開発提供する等、日本のロボット研究の第一人者です。先生の生い立ちも含めて、未来社会についての貴重なお話をお聞きすることができると思いますので、ご期待ください。

私たちはみんな、どの教室でも、子どもたちが生き生きと学習活動に取り組み、力を伸ばしていく姿を求めていると思います。私たち教職員が仲間とともに情報交換をしながら互いの良さに学び合い、研修・研究にいきいきと取り組むことは、子どもたちの学び合いと成長につながっていきます。子どもとともに私たち教職員が育つ、共に育っていく喜びを実感できる、そんな教育会を皆様方とともにつくっていきたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

（東　中）

教育会だより

4・2　各校にて代議員及び信教代議員選挙
3　第一回総会
○新役員の承認
第一回理事会
10　教育会会計監査会
17　第二回理事会
19　研究委員長会
26　第二回定時社員総会
○H29決算承認
○H30更生予算承認
5・1　研究総委員会研究委員会・同好会
世長会 同好会発足（常盤中）
10　教研学校代表者会
12　教育会総集会
○会員発表
墨坂中学校 寺田慶子教諭
「第36次日中友好長野県教育者訪中団に参加して」
○講演 伏木久始先生
「主体的・対話的で深い学びに導く授業づくり～学ぶ側の倫理からの問い直し～」
25　研究推進委員会
29　新任者教育懇談会
上高井賛助会総会
6・13　第三回理事会
14　第三回総会
15　同好会②
7・6　同好会③
9　上高井教育会報第228号発行
17　研究委員長会

「教師の位置」

黒岩　瑞樹

「あなたは、子どもの発表を、どの位置で聞きますか？」初任一年目の研究授業で、ある先生に聞かれた。「横、ですかね。」くらいの答えしか思い浮かばなかった。そこまで考えが及んでいなかったのである。

昨年、「どの子もわかる授業づくり」をテーマに、授業のユニバーサルデザインについて学ぶことができた。学んだことのひとつに、「子どもの声で課題を設定したり、まとめたりすることが、ユニバーサルデザインにつながる」という大切なことがあった。子どもたちの、自分たちで設定した課題を解決できた！探求した！という充実感が、「わかること」につながる。掲示物の貼り方や、視覚教材などのツールばかりにこだわっていた自分にとって、衝撃的だった。

子どもの思いに寄り添う支援のあり方を追究していかなければと思った。

日常生活においても、子どもの声に耳を傾け、一緒に学ぶ姿勢を大切にしていきたい。

発表をどの位置で聞くのかという問いは、文字通り場所を尋ねられた言葉であるが、教師として、子どもへのまなざしやスタンスがどうあるべきか、という問いだと気づいた。教師の立ち位置を自らに問い続けていきたい。

（森上小）

清涼談義

「峰の原高原にて」相森中 岡部温樹

「専科になって」

関谷　美紀

「音楽の先生だー。歌うたってー。」

今まで学級担任として多く勤務してきましたが、今年度は音楽家庭科専科になり、全ての学年の授業を担当しています。曜日によっては、全ての時間が音楽で埋まることもあり、子どもたちのパワーに負けまいと踏ん張る日もしばしばです。

子どもたちに出会う直前の四月、明日からどんな音楽の授業をしようか、初回は何を歌おうか、ずっと悩んでいました。授業を考えるノートに、子どもたちが好きそうな歌、簡単に歌えそうな歌を、何曲も書いてみました。いよいよ、子どもたちと対面して授業のスタートです。「あれ？この曲じゃないな。」「こんなにやさしい歌声なんだ。」「こちらの学年はとってもハキハキしてるなあ。」子どもたちに会わず、歌声を聞かずに考えるものでは、全く子どもたちに合わないことに驚きました。

音楽も他の教科と同様に、幅広い分野があり、私は音楽の全てのよさを子どもたちに伝えるのが専科の使命だと思っています。目の前の素敵な子どもたちと、幅広い音楽を通してたくさんのことにチャレンジしていきたいです。とてもワクワクしています。

（旭ケ丘小）

ご挨拶

宮下　正満

この四月より、上高井教育会館でお世話になることとなり、多くの団体の皆様、学校の先生方、地域の皆様と接し、皆様方から多くの言葉をかけて頂いています。

日中は学校や学校に関係していた団体の皆様、夕方を中心に、夕方からは学校の先生方ごろから晩夜にかけてはPTAの皆様が会館に足を運び帰っていかれます。

そのような種々の役につかれている方々が、気持ちよく教育会館を利用して頂けるように陰ながら自分の役を果たしていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。

編集後記

平成三十年度会報二二八号を発行し、無事にお届けすることができました。運動会や部活動の大会準備で、大変お忙しい中にも関わらず、会報の作成にご協力をしていただいた皆様に、心より感謝を申し上げます。

今年度もご意見を頂きながら、会員の皆様に親しみを持っていただけるような、会誌・会報を目指し制作していきますので、これからも宜しくお願い申し上げます。

委員長　宮坂ゆかり（井上小）
副委員長　前田博展（須坂小）
事務局長　竹内文宏（須坂支援）
委　員　中井光一（旭ケ丘小）
山下文代（仁礼小）
小島夕貴（常盤中）
高木　学（高山小）
小林夏美（東　中）

平成30年度　県外視察者名簿（敬称略）

	学校名	氏名	視察目的・テーマ・内容等	視察方面	実施時期
1	常盤中	松澤智恵子	日中友好長野県教育者訪中団として、中国の各種学校訪問を通して教育事情を視察する。また、命を失った同胞が眠る日本人公墓、革命烈士陵園への慰霊で平和への誓いを実感するため。	中国	10月26日～11月3日
2	井上小	吉池朋子	教科書教材を用いた問題解決的な学習(役割演技の効果的な活用)について学び、日常の道徳の授業に活かすため。	筑波大学附属小学校	6月15日～16日
3	常盤中	鈴木しのぶ	全特連・発達障害教育セミナー　第41回夏季セミナーに参加。最新の特別支援教育の動向・知見を足場に、今後の教育活動に活かす。	東京都	8月2日～3日
4	小布施中	飯泉大輔	「社会を見つめ、社会と関わる力を育む社会科学習の創造」関東ブロック中学校社会科研究大会に参加するため。	栃木県	11月16日
5	小布施中	松山由美	教育現場におけるコミュニケーション教育について、四国学院大学 西村和宏助教授と直接会い、話を伺ってくる。	香川県善通寺町	8月頃
6	小布施中	川上康樹	小布施町で進めている幼保小中一貫教育の柱の一つに「体づくり部会」があり、「姿勢教育」を中心に取り組んでいる。山梨大学の発育発達学者である中村和彦教授のお話を聞くことで、小布施町が取り組んでいるプログラムの枠を拡大したいと考える。	山梨県(山梨大学)	7月頃
7	東　中	邊田悦子	小中の連携を図り、ICTを活用した英語教育のあり方について	富山県	8月頃
8	東　中	久保田稜麻	ICT機器を活用して科学的思考力を高める指導のあり方	関西方面	10月頃
9	須坂小	岡部朱夏	・神奈川LD協会主催「起立性調節障害の理解と対応」研修会参加 ・東京都大規模校の健康教育・保健室経営の視察（学校は未定）	神奈川県 東京都	7月31日 7~9月(未定)
10	高山中	池田弥央	被爆された方々がご高齢になり、講話を聞く機会が今しかないことと、平成30年8月31日(金)まで開催されている、資料展「ドーム誕生!」を見学し、原爆ドームの前身・広島県物産陳列館の建築計画から被爆までの歩みを学び、今後の平和教育にいかすため。	広島平和記念資料館など	8月中旬
11	高山中	中澤　竣	横浜美術館で行っている、横浜市内の教育機関を対象とした「学校のためのプログラム」の中で、養護学校プログラムを実施している学校を視察させていただきたい。学んだことを今後の美術教育や特別支援教育にいかしていきたい。	神奈川県横浜市方面	未定
12	森上小	月岡英明	関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会に参加する。栃木県宇都宮市(11/8・9)「教育理念に基づく学校教育の実現」・「教頭としての力量向上」・「地域に開かれた学校運営のあり方」等、県外の教頭・副校長の教育実践に学ぶ。	栃木県宇都宮市	11月8日～9日